

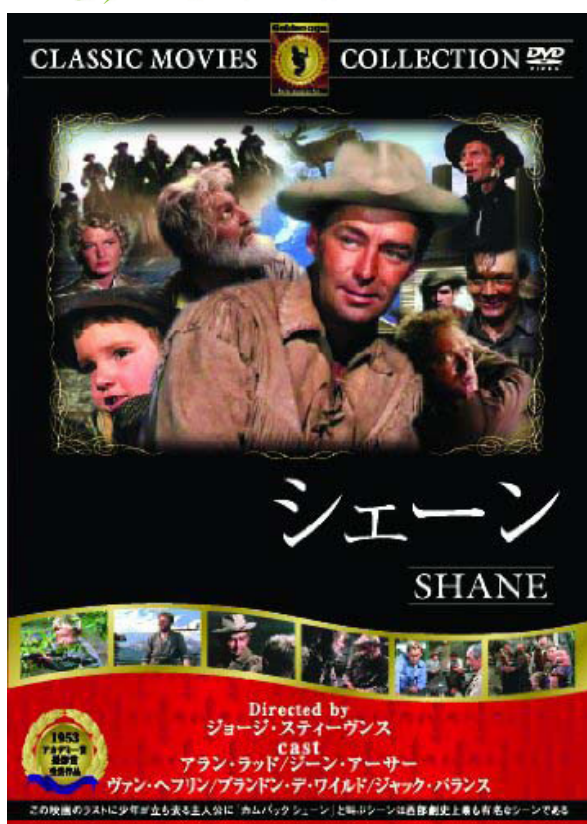
2016.8.4
vol.50

シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画
を
読む

本日の上映作品

シエーン



8月4日 (木)

① 10:30 ~ 12:30
② 14:00 ~ 16:00

西部劇史上、十指に数える事に異論はないであろう傑作。縁あって開拓移民のスターレット一家に厄介となる、旅人シエーン。折しも、この地では開拓移民と牧畜業者の間で土地をめぐる争いが起こっていた。やがて、スターレット一家にもその騒動が飛び火してきた時、世話を受けていたシエーンは、彼らの間に割って入っていく……。< allcinema >

原題：SHANE

監督：ジョージ・スティーヴンス

出演：アラン・ラッド、ヴァン・ヘフリン、
ジーン・アーサー

製作：1953年アメリカ 上映時間：118分

『シエーン』テーマ展示

- ◆ 7月28日 (木) ~ 8月9日 (火)
- ◆ 場所：ポピュラーライブラリー

サロン・ド・シネマ

6月～9月はホワイエが大変暑くなるため、
サロンはお休みさせていただきます。

上映予定 (毎回木曜日)

第51回 9月15日	『スプレンドール』
第52回 10月27日	『マダム・イン・ニューヨーク』
第53回 12月15日	『素晴らしき哉、人生！』
第54回 1月19日	『ジェニイの家』
第55回 2月16日	『会議は踊る』

『シエーン』と『マダム・イン・ニューヨーク』は図書館では所蔵しておりませんが、上映作品の選択肢を広げるため、劇場上映用のDVDをレンタルします。上映時には関連の図書の紹介をしますので、ご利用下さい。『マダム・イン・ニューヨーク』は、男女共同参画課との共催となります。

※ 上映作品は変更になる場合があります。
※ 第3木曜日に限りませんのでご注意ください。

映画を読む 『シェーン』

遙かなる山の呼び声 K.M.

今回は久しぶりの西部劇です。と言ってもこの作品、「アメリカの家庭劇の巨匠」ジョージ・スティーヴンス監督の、それまでの西部劇とは一線を画した、情感あふれる異色の西部劇です。

スティーヴンス監督は、1951年に『陽のあたる場所』で第1回目、1956年にジェームズ・ディーンの遺作となった『ジャイアンツ』で第2回目のアカデミー監督賞を受賞しています。今回の上映作品『シェーン』は、その丁度中間時点、脂の乗り切った1953年の作品です。

舞台はアメリカ西部、ワイオミング州のグランド・ティートン山脈を望む大平原。数々の西部劇で描かれてきた、砂塵舞う荒涼とした大地とは異なり、雪を頂いた山々を背景に、川辺で子鹿が水を飲む、緑溢れる開拓地です。アラン・ラッド演ずる主人公のシェーンは、ウェーブのかかった金髪の、ガンマンらしくないおだやかな雰囲気の流れ者です。

映画は、シェーンが流れ旅の途中、開拓農民ジョー・スターレットの家に立ち寄るところから始まります。ジョーと話しているシェーンの背後で、ジョーの一人息子ジョーイが遊び道具の銃を弄った瞬間に拳銃に手をかけるシェーン。このシーンだけで、シェーンが修羅場を潜ってきたガンマンらしいと分かりますし、ジョーイに対する対応からやさしい男のイメージが伝わってきます。その後、牧場主ライカー一族がやって来て、ジョーに立ち退きを要求します。さりげなくスターレット一家の背後にあたかも身内の様に寄り添って立つシェーン。ライカー一族は畑を踏み潰して帰って行きます。このシーンで、この地では開拓農民と牧畜業者の間で土地を巡る小競り合いが続いていること、やがてその争いにシェーンが巻き込まれ、スターレット一家を助ける形で参戦することになりそうなことがサラッと伝わってきます。冒頭のたった10分で、ごく自然に観客をこの作品の世界に引き込んでいく優れた導入部です。

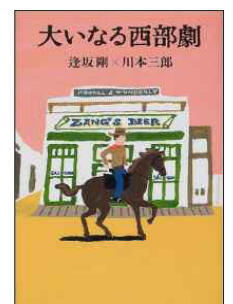
質素だが堅実に暮らしているスターレット一家は、最初は流れ者シェーンに警戒心を持つものの、しだいにこのガンマンを受け入れていきます。少年のシェーンに対する強い憧れ、男同士の友情と意地の張り合い、人妻のひそかな恋心など、雄大な山並みを背景に情緒豊かに描かれていきます。この作品が、西部劇に家庭劇を持ち込んだ名作ともいわれる所以です。

勿論、この作品の見どころは多面的で、映画史上の記録と言われるアラン・ラッドの0.6秒の早打ちや、全身黒づくめでめったに口を利かず、何時もコーヒーばかり飲んでいる不気味な殺し屋ウィルソンの凄さや、西部劇史上屈指の決闘シーンなど、純粋に西部劇としてもなかなか面白く、銃など必要ないと主張する母親と、銃は道具と同じだと言うシェーンの会話を、現在のアメリカの銃規制問題と結び付けて考えると、開拓農民と牧畜業者の争いを移民問題と結び付けて考えると、社会ドラマとして楽しむネタも一杯あります。

が、何といても最大の感動はラストシーン。傷ついた身体を心配して一緒に家に帰ろうと呼びかけるジョーイに、自らの生き様と殺し合いの虚しさを語り、愛馬に跨り、名曲「遙かなる山の呼び声」が流れる中、美しい山並みに向かって去っていくシェーン。「シェーン!!カムバック!!」と必死に呼びかけるジョーイの声が山にこだまする、映画史に残る感動のラストシーンをじっくり味わってください。

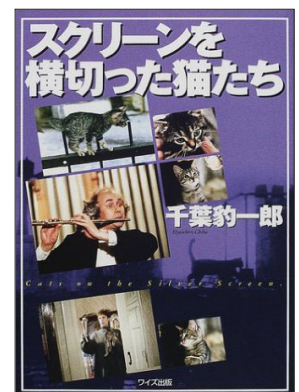
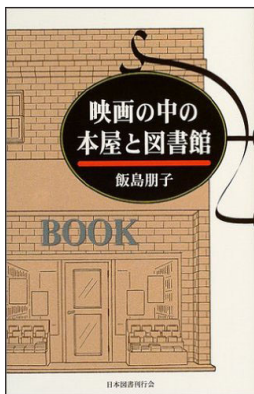
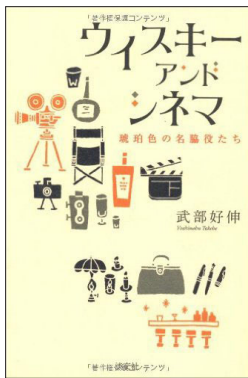
ちなみに『シェーン』は後続の西部劇だけでなく、様々な映画に影響を与えているようですが、比較的近い例として山田洋次監督の『遙かなる山の呼び声(1980)』、クリント・イーストウッド監督の『ペイルライダー(1985)』などが、『シェーン』に捧げられたオマージュであるといわれています。

『誇り高き西部劇』逢坂剛／著	新書館 778.2
『西部劇を読む事典』芦原伸／著	日本放送出版協会 778.2
『大いなる西部劇』逢坂剛／著	新書館 778.2



キーワードで映画を楽しもう!!

『ウイスキー アンド シネマ』 琥珀色の名脇役たち	武部 好伸／著	淡交社	778.04
『シネマ・バーで乾杯』	村上 清和／著	新風舎	778.04
『映画とたべもの』	渡辺 祥子／著	ぴあ	778.04
『映画のなかの草木花』	飯島 朋子／著	日本図書刊行会	778.2
『映画の中の本屋と図書館』	飯島 朋子／著	日本図書刊行会	778.2
『映画でみつけた素敵なことば』	岡田 喜一郎／著	佼成出版社	778.04
『女と男の名作シネマ』 極上恋愛名画 100	立花 珠樹／著	言視舎	778.04
『シネマ DE モード』	おおた うに／著	朝日新聞出版	778.04
『世界文学を DVD 映画で楽しもう!』	大串 夏身／著	青弓社	778.04
『ねこシネマ。』	ねこシネマ研究会／編	双葉社	778.2
『スクリーンを横切った猫たち』	千葉 豹一郎／著	ワイズ出版	778.2



次回上映会のご案内

「シネマ・ド・りぶら」映画上映会（第51回）

スプレンドール



閉館する映画館を舞台に、そこで働く男女3人が繰り広げる人間味溢れるドラマ。イタリアの小さな町の映画館、スプレンドール座。子供の頃から映写技師の父を手伝い、今はスプレンドール座の館長として映画一筋の人生を歩むジョルダン。彼と恋に落ち、レビューを捨てて劇場の案内嬢として働くシャンタル。彼女に一目惚れして劇場に通う内に、映画に魅せられ映写技師になってしまった青年ルイジ。彼らが愛し、映画の黄金期を生きたこの劇場も、テレビやビデオの台頭で遂に人手に渡ってしまう日が明日に迫っていた……。< allcinema >

原題：SPLENDOR

監督・原案・脚本：エttore・スコーラ

出演：マルチェロ・マストロヤンニ

マリナ・ヴラディ、マッシモ・トロイージ

製作：1989年イタリア/フランス

上映時間：111分

★日時 **9月15日（木）**

① **10:30 ~ 12:25** 開場：10:00

② **14:00 ~ 15:55** 開場：13:30

★場所 **りぶらホール**

★定員 **各回280人**（入場無料・全席自由）

★主催 **岡崎市立中央図書館
りぶらサポータークラブ**

★問合せ **TEL：23-3114 mail：info@libra-sc.jp**

託児：500円
（各回5名まで）
申込みは、
1週間前までに。

